

2019年度(平成31年度)「自ら考え学ぶ授業づくり」アクションプラン

<学校用>

校番(5)番 福山市立 城東 中学校

1 育成する力(21世紀型“スキル&倫理観”)

育成する21世紀型“スキル&倫理観”	課題発見・解決力	論理的思考力・表現力	協働性	自己指導力
めざす子ども像(21世紀型“スキル&倫理観”を身に付けた児童生徒の姿)	課題を見つけ、思考・判断した過程や結果を見通しながら、集団で解決しようとしている。	複数の意見の相違点を踏まえ、より良い考えを創り出し、根拠を明らかにして、相手に分かりやすく説得できる。	相手意識を持ち、積極的に人間関係を築き、より良く生きようとしている。	様々な活動に進んで挑戦し、責任を持ってやりとげようとしている。自らの行動や学びが適切であるか振り返りながら、より良い生き方を考え創り上げようとしている。

2 授業の現状

子ども主体の授業づくりを意識して行うことで、生徒が意欲的に授業に取り組む姿が以前よりよく見られるようになった。今後は、生徒だけで深められないとき、教師がどう関わっていくのかを考えていかなければならない。

転換

3 めざす授業の姿

生徒が「やってみたい！ 考えたい！ 説明したい！」と思い、自分でじっくり考え、他者の意見も踏まえ、自己の考えを広げる授業

4 めざす授業に向けた取組の具体

4月からの取組	8月末の状況	9月からの取組	12月末の状況	1月からの取組	2月末の状況
1 自ら課題を見つけ、じっくり考え、自己決定することができる多様な学びの場の設定 2 授業構成比(input:output=3:7)を意識した授業づくり	1 ○「学び合い」やグループ学習など、多様な学びの場の設定ができた。 △学習意欲が低い生徒をどのように参加させていくかが課題である。 2 ○講義型の一斉授業ではなく、様々な形でoutputができるように意識している。	1 異教科、異学年の3人グループを作り、“生徒主体の授業づくり”について研究する。 2 放課後、個々の実態に合わせた個別学習の時間をつくる。	1 ○グループごとに授業研究を実施し、授業改善につなげた。 △グループごとのふり返りのみで、全体で交流できていない。 2 ○各学年、工夫して補習や自主学習など個に応じた個別学習の時間を設定した。	1 授業や課題の在り方の工夫及び、ICT機器を用いた個別最適化学習を実施する。 2 グループごとの“生徒主体の授業づくり”について全体で共有し、授業改善につなげる。	

5 取組の結果等

数値は2019年(令和元年)調査等の状況

全国学力・学習状況調査(%) (児童生徒質問紙調査)(%) (肯定的評価)

国語	75(+1)	自分にはよいところがある	78.2
数学	63(+3)	先生はよいところを認めてくれる	83.4
		将来の夢や目標を持っている	75.2
英語	54(-2)	人の役に立つ人間になりたい	93.2

()は県平均との差

「基礎・基本」定着状況調査(児童生徒質問紙調査)(%) (肯定的評価)

学校へ行くのは楽しい	83.9
「やりなさい」と言われなくても、自分から進んで勉強をしている	56.3
授業では、課題について、「なぜだろう」「やってみたい」と思う	72.3
授業では、友だちと話し合うなどし、考えを深めたり広げたりしている	78.6

暴力行為発生率・不登校児童出現率(%) (12)月末現在

暴力行為	1	不登校	1.15
------	---	-----	------

体力づくり改善計画【広島県体力・運動能力調査から】

県平均以上項目数	前回目標値に対する結果	重点課題	改善する取組内容・方法
(男子) 24/24	・前回は持久走と50mを重点課題と設定した。その結果、持久走は1,2年男女において改善した。50m走では、全学年の男子において改善した。	重点課題 ①女子反復横跳び ②女子50m走 ③女子持久走	・体育の授業で課題となる、敏しょう性や瞬発力を意識した補強運動を行う。 ・部活動での運動に重点課題項目を取り入れる。
(女子) 17/24			
目標値	全項目を県平均以上にする。		

福山100NEN教育アンケート[対象:授業者](%)

質問項目	当てはまる	当てはまらない
仕事にやりがいを感じている	89.5	10.5
仕事に充実感がある	79.0	21.0

児童生徒アンケート(%) (7)月実施

質問項目	当てはまる	当てはまらない
授業で考えることが面白い	76.1	23.9
自分の考えは、認められている	83.6	16.4